

議員研修報告書

江津市議会議員 石橋孝義

1. 「地方創生（各論）人口増加策、DX、GX、公共交通」

日 時：2024 年 1 月 16 日（火）

会 場：リフレンス国際ビル貸会議室 2 階

講 師：山中俊之氏（株式会社グローバルダイナミックス取締役「2030SDGs」認定ファシリテーター、長崎市政策顧問、大阪市特別顧問、芸術文化観光専門職大学教授、神戸情報大学院大学教授）

2. 「高齢化の進展、人口減少に対応した交通のまちづくり」

日 時：2024 年 1 月 17 日（水） 10：00～12：30

会 場：リフレンス国際ビル貸会議室 2 階

講 師：井原雄人氏（早稲田大学スマート社会技術融合研究機構電動車両研究所研究院客員准教授）

1. 「地方創生（各論）人口増加策、DX、GX、公共交通」

○ 人口増加策

- 単に人口増加策ではない。社会全体をどのようにSDGsの視点から変革していくかが問われる。
- 世界の動きを視野に入れる。世界経済の動向に加え、先進事例を取り入れる。
- リーダーとリーダーが行う尖ったことを取り入れる地域風土が重要である。

※ 移民を受け入れないとイノベーションが起こらない。

- 人口増加率全国 1 位：占冠村
- 徳島町、上勝町、神山町：「葉っぱビジネス」と「ゼロウェイスト」で人口増。
- 熊本県菊陽町：台湾 TSMS の工場建設で優秀なエンジニアが移住する。
- インドハイデラバードの成長：インド工科大学の存在で世界の IT 企業が集結。
- 欧州で公共交通無料の動き：ルクセンブルクでは、2020 年 3 月より、公共交通を無料にした。ひどくなっていた大気汚染と渋滞を防ぐためである。

都市単位では、エストニアの首都タリンや仏ダンケルクでも実施。

○ 自治体DXのあるべき方向

- 単なる電算化、ペーパーレスではない。自治体の在り方を根底から変える施策。
- 社会変革、組織変革の知見と IT 地権の融合が必要。
- 外部人材と内部人材の役割分担。

○ 札幌市のDX児童虐待対応

- 事例を集約して、縦割り防止。
- 情報を一元化して、各家庭の状況が分かるようにした。
- 記録する職員の失念を防止する為の機能を充実させる。

○ DX と地産地消再生可能エネルギー

- 岐阜県高山市奥飛騨地区 → バイオマス及び地熱・水力を活用。
地産地消の再可能エネルギーへの取り組み進む → 地域の資産を効率的・効果的に使う手法。

○ 棚田の環境保護機能

- 兵庫県香住町小代の棚田 → 日本棚田百選 → 棚田は洪水や土砂崩れ防止機能 → 生物の生態系を守ることにつながる。

○ コミュニティのさらなる劣化

- 現代日本社会はコミュニティの助け合いが脆弱と言われてきた。



ソーシャルディスタンスによりさらに劣化する可能性。



引きこもり、孤独死、DV などの問題がより深刻化、ボーダーラインの人々の状況悪化

ソーシャルディスタンス時代のコミュニティ（市民参加、協働）や福祉と医療の在り方を検討すべき。

○ 都市集住時代の終焉

- 大都市集住のリスクが広く認識される。



密・集住でない地域の魅力が再確認、もっとも単に自然があるというだけでは魅力が中途半端。

自然と芸術が両立した新たな芸術田園都市構想を打ち出す。

※ 議会での質問に向けて

- 予算も条例も議会で決まる。議員の尽力で変わることは大きい。

2. 「高齢化の進展、人口減少に対応した交通のまちづくり」

- 地域公共交通はまちづくりの手段
- 地方都市と地域公共交通の現状

- 人口減少と拡散
- 公共交通空白地域の拡大
- 地域公共交通の果たすべき役割
- 地域公共交通に求められる役割と価値 → 利用している人だけでなく、何かしらの理由で利用できない人も対象。
移動手段としての価値だけでなく、移動手段があることによって得られる価値。
- 高校生のバス通学支援（中津川市） → 高校生の30%がバス通学した結果、事業者の利益の半分は通学定期券。
- 送迎される人は移動には困っていない → 移動の問題が家庭の問題に隠されている。
- 商店と連携による賑わい創出（松本市） → 運行側が費用負担をしないインセンティブによる利用促進
- 地域公共交通は誰が維持するのか。（地域公共交通活性化再生案）



国、行政、交通事業者に地域公共交通を維持する責任はない。

利用者も含めた関係者が連携して取り組むことが必要。

- コミュニティバスの収支率 → （採算が取れない）民間路線バスの代替である限り、収支率が高くなることはない。
- 市民ワークショップ（30人） **移動に対する価値観を共有する。**



理想のコミュニティを想像（妄想）し、改善が必要な移動の課題を共有する。

- 運行協議会・住民説明会（100人） → 住民自らが決めることで、「やることの主体性」と「やらないことの責任」を持つことが大切。
- 住民バスの成功との相乗効果 → 手段としての価値だけでなく、地域活性化や交流促進の価値が重要。
- まちづくりの問題と移動の確保「一般論・価値観」



移動を確保することがまちづくりの様々な問題の解決につながる。

以上

感想

今回の受講は、先進地の取り組みも紹介しながらでよくわかった。
多くの内容が参考になり、有効な内容で良かった。

終わり